

1 事業者の名称及び所在地

名 称 日清紡績株式会社

代 表 者 代表取締役 指田 禎一

所 在 地 東京都中央区日本橋人形町二丁目3 1 番 1 1 号

名 称 株式会社イトーヨーカ堂

代 表 者 代表取締役 井坂 榮

所 在 地 東京都千代田区二番町 8 番地 8 号

2 対象事業の名称及び種類

名 称 日清紡東京工場跡地イトーヨーカドー S C 建築事業

種 類 自動車駐車場の設置

3 対象事業の内容の概略

本事業は、東京都足立区西新井栄町一丁目 18 番から 20 番までに位置する敷地約 32,400 m²(日清紡東京工場跡地等)において、商業施設の建設及びそれに伴う約 1,550 台の自動車駐車場を設置するものである。

対象事業の概略は、表 1 に示すとおりである。

表 1 対象事業の概略

項 目	内 容
所在地	足立区西新井栄町一丁目 18 番から 20 番まで
建築物の概要	地上 6 階地下 1 階建て (地下：鉄骨鉄筋コンクリート造、地上：鉄骨造) 店 舗：1 階～4 階 駐車場：4 階～6 階(屋上)、地下 1 階
敷地面積	約 32,400 m ²
店舗等床面積	約 59,700 m ²
延床面積	約 108,900 m ²
駐車場	約 1,550 台
工事予定期間	約 21 か月
供用開始	平成 19 年 11 月(予定)

4 環境影響評価の項目

環境影響評価の項目は、対象事業の事業計画案の内容から環境に影響を及ぼすおそれのある環境影響要因を抽出し、地域の概況から把握した環境の地域特性との関係を検討することにより、表 2 のとおり選定した。

選定した項目は、大気汚染、騒音・振動、水質汚濁、土壌汚染、地盤、水循環、日影、電波障害、景観、廃棄物及び温室効果ガスの 11 項目である。

表 2 環境影響要因と環境影響評価の項目との関連

環境影響評価の項目	環境影響要因	区分		工事の完了後		
		建設工事	工事用車両の走行	建築物の存在	施設の供用	関連車両の走行
	予測する事項					
大気汚染	建設機械の稼働に伴う二酸化窒素及び浮遊粒子状物質の濃度					
	工事用車両の走行に伴う二酸化窒素及び浮遊粒子状物質の濃度					
	駐車場利用車両の走行に伴う二酸化窒素及び浮遊粒子状物質の濃度					
	関連車両の走行に伴う二酸化窒素及び浮遊粒子状物質の濃度					
悪臭						
騒音・振動	建設機械の稼働に伴う建設作業の騒音・振動					
	工事用車両の走行に伴う道路交通の騒音・振動					
	駐車場利用車両の走行に伴う騒音					
	関連車両の走行に伴う道路交通の騒音・振動					
	冷却塔の稼働に伴い発生する騒音及び低周波音					
水質汚濁	汚染土壌による地下水の水質への影響					
土壌汚染	建設工事の実施に伴う汚染物質の排出又は汚染土壌の掘削・移動等による影響					
地盤	建設工事に伴う地盤の変形の範囲及びその程度					
地形・地質						
水循環	地下構造物の設置に伴う地下水の流況の変化の程度					
生物・生態系						
日影	計画建築物の設置に伴う、日影が生じることによる影響に特に配慮すべき施設等における日影となる時刻及び時間数等の変化の程度					
	計画建物の設置に伴う冬至日における日影の範囲、日影となる時刻及び時間数等の変化の程度					
電波障害	計画建物の設置に伴うテレビ電波の遮へい障害及び反射障害					
風環境						
景観	計画建物の設置に伴う主要な景観構成要素の改変の程度及び地域景観の特性の変化の程度					
	計画建物の設置に伴う代表的な眺望地点からの眺望の変化の程度					
史跡・文化財						
自然との触れ合い活動の場						
廃棄物	建設工事に伴う建設発生土及び建設廃棄物の排出量 じんかい（一般廃棄物）の場外搬出					
	施設の供用に伴う廃棄物の種類及び排出量					
温室効果ガス	施設の供用に伴うエネルギーの使用による温室効果ガスの排出量及びその削減の程度					

- 注 1) 印は、予測・評価を行う必要があると認められる環境影響評価の項目を示す。
 2) 「関連車両」は、施設の供用に伴う発生集中交通及び搬入出等物流交通に係る車両の総称をいう。
 3) 工事の完了後における熱源施設の稼働に伴う大気質については、今後の具体的な事業計画に基づいて、環境影響評価の項目として選定するか否かを検討していくこととする。